

ものづくり展で注目を集める山下工業所製作のチェロ(東京の日本科学未来館)



チェロにキラリ 新幹線の技

東京・江東区の日本科学未来館で開催中の「ものづくり展」に、下松市の山下工業所(山下清登社長)製作のアルミ製のチェロが展示され、訪れた人たちの注目を集めている。

同社は素材をハンマーでたたき曲面を作る「打ち出し加工技術」を確立し、新幹線やリニアモーターカーなどの先頭車両の製作に活用。昨年、経産省など主催の「ものづくり日本大賞」で特別賞を受賞している。

展示されている板金製のチェロは、新幹線車両の製作と同様にア

東京「ものづくり展」 下松の板金会社出品

ルミ板を使い、打ち出し加工技術でなめらかな曲線を作り出した。主催者から急ぎよの出展要請を受け、短期間で製作。展示会前日の十四日に会場に届いたという。

会場の入り口そばと、最も注目される場所に展示。来場者は「硬い素材が、美しい曲線によってやわらかく感じる」「音を奏でれば美しそう」と興味深く見ていた。

同展は、ものづくり日本大賞受賞者のうち約百団体の作品を展示。三十日までの開催期間中、春休みの家族連れなどを中心に約二万人の来場者を見込んでいます。